

(様式2(1))

事業所名 にしがき豊岡グループホーム

目標達成計画

作成日: 令和 元年 3月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課第が焦点化 できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ご利用者様一人ひとりの思いや意向を把握し、ご利用者様に合わせたご利用者様中心のケア・日々の動きを行いたいと思いはあるが、行えていない部分もある。	ご利用者様に合わせたご利用者様中心のケア・日々の動きを行えるようにしたい。	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方や生活環境や暮らし方の希望や思い・意向を担当スタッフがアセスメントを行い、共有し、生活の日課・介護計画の作成を行い実施する。ご利用者様を中心とした生活が行えるよう業務運営を改善する。	12ヶ月
2	13	経験豊富な職員が少なく、介護・認知症ケア・介護施設運営の理解が行き届いていない。	職員一人一人のケアの実際や力量を把握し、法人内外の研修受講機会を増やし、働きながらトレーニングしていく機会を増やし、理解とケアの充実を行う。スキルアップ研修の継続	決まっている研修だけではなく、スタッフのわからないところできていないところを把握し、基本から実践までの具体的な細かい研修を実施する。また受けるばかりではなく、皆で考え答えを導き出すようなグループミーティング研修を実施する。	12ヶ月
3	22	施設側だけでなく、友人・ご家族様等に協力をお願いし、密に連絡をとりあい、ゆかりのある方と交流を持っていただいたり、個別に外出いただいたり、カルチャーや区の会などに参加できるよう検討が必要	ご家族様や知り合いや地域住民の協力を得て社会参加や外出支援につなげていく。	ご家族様との懇談、運営推進会議、地域の寄り合いなどで周知させていただき相談を行い理解を得て実行する。散歩・買い物・区の会・カルチャーなど。	12ヶ月
4	5	豊岡市による地域包括ケアシステムへの参加について継続実施	事業所開放事業などの地域貢献・協力を継続していく。	地域包括ケアシステムについて西花園区として協力体制の構築。地域に施設開放の計画。入居者の社会参加や社会的交流により地域の方々の理解を得たい。専門的な技術の提供や対応ができるよう職員の育成を行う。	12ヶ月
5	10	広報誌の充実・ご利用者様とご家族様等の意見の反映 を充実。運営推進会議にご家族様・ご利用者様に参加いただけていない。	広報誌はグループ施設と協力し内容を充実させる。ご利用者様とご家族様の意見を聞ける機会を増やす。運営推進会議にご家族様・ご利用者様に参加していただく。	広報誌はグループ施設と協力し地域やご利用者様ご家族様からの意見や情報も盛り込みニーズを取り込み内容を充実する。ご利用者様・ご家族様には居室担当を中心に懇談を行う機会を増やし個別ケアを充実させる。ご家族様やご利用者様の運営推進会議をご理解いただき参加いただこうよう促す。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。